

小学生の部 佳作

美里町の色

南郷小学校 3年 木谷 吏玖

緑色と黄色。

ぼくが美里町にひっこしてきて、さいしょに思った、この町のイメージカラーです。

春先から夏にかけて、そこら中の原っぱや町いっばいに広がる田んぼは緑色であふれ出します。風がふくとさわやかなしぜんのおいもしてきます。

そして秋になれば、今度は黄色でいっばいになり田んぼはきれいなじゅうたんのようになります。ちょっと前までうすい黄緑色だったのに、つぎに通ったときはすごくこい色になっていてびっくりしたことがあります。

ぼくは美里町の色で緑色と黄色が学校の体そうぎの色になったらうれしいです。

この体そうぎをきて、学校の友だちといっばいあそんだり、しぜんたんけんをしたり、美里町のう家のみなさんと田うえをしたり、イネかりをしてみたいです。

そしてできあがったお米を自分たちでおむすびにして食べてみたいです。ぜったいにたのしいと思います。

美里町にはたくさんの緑色と黄色があります。それはこの町にすんでいた、むかしの人たちや町のしぜんをまもってくれているみなさん。

そしておいしいお米を作ってくれるのかのかたが作ってくれた色です。

ぼくも、このすばらしい色を大切にしていきたいです。

そして、緑色と黄色の体そうぎをきて学校の友だちみんなとしぜんや田んぼの中であそんだり学んだりできる学校へ通ってみたいです。